

# 石川啄木と俵万智による六つの歌

Six Songs by Takuboku ISHIKAWA and Machi TAWARA

丸山 亮 作曲

Composed by Ryo MARUYAMA

石川啄木 詞

Poem of Takuboku ISHIKAWA

俵万智 詞

Poem of Machi TAWARA

S0002M01

スタジオM出版  
STUDIO M Publishing

Fl.

Sop.

Ten.

Pf.

か

ー

### 石川 啄木

時として 君を思へば 安かりし心にはかに騒ぐかなしさ

放たれし女のごときかなしみを 弱き男も この日今知る

たんたらたらたんたらたらと 雨滴が 痛むあたまにひびくかなしさ

### 俵 万智

我だけを想う男のつまらなさ知りつつ君にそれをのぞめり

愛持たぬ一つの言葉 愛を告げる幾十の言葉より気にかかる

どうしても歩幅の合わぬ石段をのぼり続けている夢の中

## 《作品解説》

「石川啄木と俵万智による六つの歌」

丸山 亮

これは、明治の歌人石川啄木と現代の歌人俵万智が歌のやり取りをしたらという想定のもと、交互に3首ずつ、計6首を交わす歌曲集です。

俵万智が「サラダ記念日」で華々しくデビューした当時、私もこの本を読んで鮮烈な印象を持ちました。そして作風は異なるものの、青春の鬱屈した気持ちが込められている石川啄木との間にどこか共通点があるなど感じ、二人の歌を並べて男声、女声が順に歌い分ける歌曲にすることを思いつきました。また最後には二人の歌を、あえて同時に重ねてみることにしました。こうして生まれたのがこの作品で、30年も前のことになります。

ピアノ伴奏にフルートのオブリガートを加え、男声、女声がそれぞれ啄木と万智の歌を交互に歌います。出版に際し古い手書きの譜面を取り出して細部を見ていくと、あれこれ直したいところも出てきましたが、フルートの音域を上げる以外、一切の書き直しを思いとどまり、発表当時のままにすることとしました。当時の自分の気持ちを反映していると思えたからです。

この風変わりな歌曲集が、少しでも人の目に留まるところとなれば幸いです。

(2018年10月)

### 《記録》

作曲 1988年

初演 1988年11月9日 通産省講堂 通産省合唱団コンサート

ソプラノ 広瀬優子

テノール 松本邦夫

ピアノ 川崎しのぶ

公開初演 1993年10月9日 松本市音楽文化ホール 松本深志高校卒業30周年記念コンサート

ソプラノ 奥村桂子

テノール 土屋清美

ピアノ 奥村晃博

フルート 青木潤子

### 丸山 亮（まるやま りょう）プロフィール



作曲家、マルチメディア・アーティスト。

昭和20年、長野県の生まれ。京都大学工学部を卒業後、フランス政府給費留学。スコラ・カントルムで和声、ソルボンヌ大学で音楽史を学ぶ。

作品に、混声合唱による安曇野の四季「ぬるせぎ」（マザーアース）、混声合唱組曲「夜鶯とバラ」（マザーアース）、「合唱でつづる日本の四季唱」（音楽之友社）、音楽童話「かわいそうな象」（同）、混声合唱のための「日本民謡集」（マザーアース）、ビデオ・ミュージックシアター「オルフェの旅」「風の女」「幻視」「Alter Ego との対話」「記憶の断章」、著書に「発明文化論」、「知財文化論」（発明推進協会）などがある。

スタジオ M 出版  
STUDIO M Publishing

S0002M01

石川啄木と俵万智による六つの歌

Six Songs by Takuboku ISHIKAWA and Machi TAWARA

丸山亮

Ryo MARUYAMA

定価 1200 円＋税

厳禁 転載. 複製. 複写

スタジオ M 出版 Studio M Publishing  
〒270-0023 松戸市八ヶ崎 7-11-22 (E-mail) [studiom17pub@gmail.com](mailto:studiom17pub@gmail.com)  
©Copyright 2018 by Ryo MARUYAMA All Right Reserved Printed in Japan